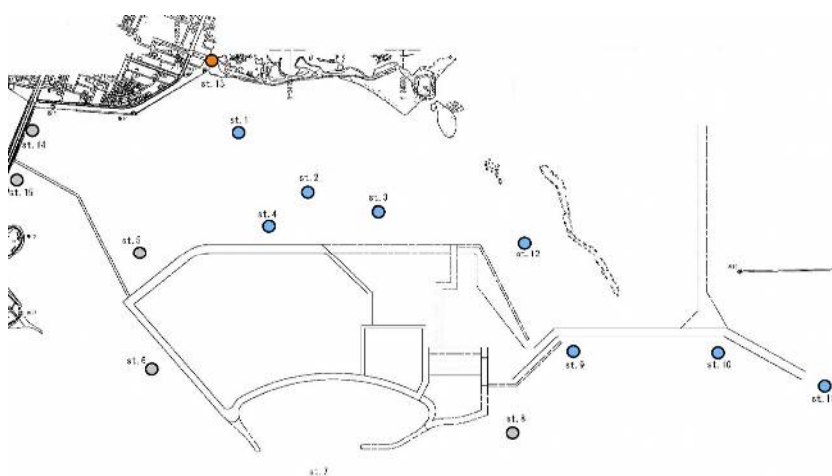


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討					
目視観察結果	<p>クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は2月18日のst.3で5.9mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は2月15日のst.12で4.1mg/Lであった。</p>		<p>今月の県施工工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、汚濁防止膜設置・移設、支持杭撤去、閉塞工(砂投入)等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工工事は、浚渫工事で、泊地浚渫、土運船運搬、揚土、土捨て、浚渫土工、土砂運搬、潜水探査、汚濁防止膜交換(1スパン)が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>						
	水質調査結果	<table border="1"> <tr> <td>クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】</td> <td>全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、0.6～5.9mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】</td> <td>全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.1mg/L、0.2～4.1mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>流入部負荷量の調査地点</td> <td>SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=6回(24計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(24計測中) 平均値は10.3mg/L、1.9～32.9mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</td> <td>2/16の32.9mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日1.5mm、前日0.5mm、当日0.0mmであり、降雨による濁水流入もみられなかった。</td> </tr> </table>			クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、0.6～5.9mg/Lの範囲で推移していた。	工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.1mg/L、0.2～4.1mg/Lの範囲で推移していた。	流入部負荷量の調査地点
クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、0.6～5.9mg/Lの範囲で推移していた。								
工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.1mg/L、0.2～4.1mg/Lの範囲で推移していた。								
流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=6回(24計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(24計測中) 平均値は10.3mg/L、1.9～32.9mg/Lの範囲で推移していた。								
流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	2/16の32.9mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日1.5mm、前日0.5mm、当日0.0mmであり、降雨による濁水流入もみられなかった。								
基準超過時の気象概況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p> 						
基準超過時の工事状況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>								

第11回(2月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和5年2月1日～令和5年2月28日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は2月27日(PM)のst.5で観測された5.8mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>				
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.1mg/L、<1.0～5.8mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=24計測中9回 st.15=24計測中3回</p> <hr/> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=24計測中0回 st.15=24計測中0回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14:2/28(AM 上げ潮時)47mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は調査前々日0.0mm、前日1.0mm、当日0.0mmであった。低水位、風浪による底質の巻き上げによる影響が考えられた。 st.15:2/6(AM 下げ潮時)48mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は調査前々日0.0mm、前日0.5mm、当日52.0mmであった。降雨による影響が見られた。</p>		
基準超過時の 気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>		
基準超過時の 工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>				

